

# 「土佐市シルバー家～新たな飛躍に向けた五年次のとりくみ」

## 令和6年度事業計画書

### 公益社団法人土佐市シルバー人材センター

#### □基本方針

公益社団法人土佐市シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、平成5年に有志が創立して以降、一般社団法人という法人化を経て今に至っています。この間、土佐市在住の高年齢者に積極的に働きかけて190名余りの会員数を誇る県下の中規模シルバー人材センターに育ってきました。

しかし、一方で人口減少が進む状況の中、センター会員が大幅に減少せず組織形態を保っているのは理事会を中心とするセンターならではの横のつながりを示しており、このことは大きな財産であろうと考えます。

「令和」という新しい時代を迎えて早や6年、その令和6年度に190名の会員がこの大きな財産である「家族のつながり」を武器に、より一層の発展と躍進を遂げていくために、次のとおり、「令和6年度事業計画」を定めることとします。

#### □重点項目

「～土佐市シルバー家～新たな飛躍に向けた五年次のとりくみ～」として、引き続き、会員と事務局が家族ぐるみであらゆる事業に取り組んでいく組織体制を構築します。

1. 安全で適正な就業体制を再構築し、「事故ゼロ」を掲げた適正事業所づくりを推進します。
2. 高年齢者の生きがいづくりと、社会参加の促進を図ります。
3. 地域社会に対し、センター事業の普及と啓発を推進します。
4. 適正な請負・派遣の就業形態を確立するとともに、「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」の促進を図ります。
5. 職種別のエキスパート会員を養成し、地域の人づくりを進めます。
6. 地域とつながった「指定管理者制度」を引き続き堅持し、将来にわたって地域に根ざすシルバー事業に取り組んでいきます。

#### □目標

##### 1. 会員の増強

本年度会員数の確保目標は、中期事業計画(案)にしたがって、本年度の会員数を200人台に復活することを目標とし、あらゆる機会を通じて会員拡大に取り組めます。

【参考】 中期計画に定める会員確保・拡大目標値

※H30～R04は実績

	H30	H31	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08
センター	213	196	187	189	190	193	226	233	238

※令和5年度は、2月末日会員数を表示。

## 2. 高齢者就業機会確保事業

受注件数 1,200件、延べ就業会員数 10,000人

契約金額 60,826千円を目標とします。

## 3. 派遣事業

受注件数 20件、延べ就業会員数 1,800人

契約金額 13,000千円をめざします。

## □計画する公益目的事業

### I 公益目的事業として取り組む区分

- 1 シルバー人材センター事業
- 2 指定管理者事業
- 3 その他の公益目的事業

### II 共通事項

#### 1 安全・適正就業の推進

会員が安心して就業するために「安全・適正就業」がセンターの最優先課題であり、シルバー事業をさらに発展させるためには、本課題の推進が重要不可欠です。このため、次の事項に取り組んでまいります。

#### (1) 安全・適正就業の強化

- ① 理事長を先頭に「安全適正就業」への取り組みを推進し、一定の成果を挙げていますが、本年度においても、引き続き、この体制を維持し、会員のみならず理事会においても「事故ゼロ」をめざすための意識改革に取り組むとともに、理事会での安全委員会議を開催して会員をリードしていくこととします。
- ② 組織運営のひとつである「安全就業推進委員会」による安全パトロール活動をさらに発展させ、実践でのパトロールの馴れ合いを防ぎ、相互研鑽を促して一層強固な体制により実施します。また、安全パトロールは、例月1回実施にこだわらず、夏場以外にも複数回配置を配した重点強化を図ります。このパトロールについては、県連合との共同パトロールも行って、外部監視の目を増やし、会員への安全作業に対する意識指導とその強化に努めます。
- ③ これまで実施した安全講習会を定期的で開催すること、テキストやスクリーン・ビデオ活用による目でみる安全勉強会の実施、会員相互の事例研修報告会など創意工夫による内容とすることや、作業機具の点検整備を含めた安

全実習講習の開催を行ってまいります。また、既に整備した高所作業における安全帯、除草作業での飛散防止ネット、住宅・道路沿い作業によるカルマー刃等を引き続き活用し、最大限の安全に取り組みます。

- ④ また、会員の高齢化等の状況から、後段に掲げる会員自らの健康増進について、市特定健診の受診促進に加えるなど、個人・法人ともに「健康体制」を強化します。さらに就業途上および就業中の安全確保のため、交通安全講習会、救急救命訓練等の開催にも取り組んでいきます。

## (2) 適正な受託と就業の推進

- ① 当センターでは、この6年間、適正就業に取り組み、「適正就業ガイドライン」にしたがって事業の推進を図ってきましたが、なお、引き続き、高知労働局、高知県連合会等の指導に基づき、適正な事業運営を図っていくことを基本として公益目的事業に取り組んでまいります。
- ② 請負、受託、派遣などの契約形態にしたがって、適正な就業形態を精査する自主点検及び改善体制を引き続き堅持し、作業内容に沿って契約仕様書を定めるなど、それぞれの実態に即した就業体制を確立します。
- ③ 請負又は委任に相応しない就業は、シルバー派遣事業や有料職業紹介事業への切り替えを積極的に推進するとともに、県連合会、就業先事業所等との十分な事前協議を整え適正就業に努めます。

## (3) 意識啓発活動の実施

- ① 安全就業推進委員会、適正就業推進委員会のさらなる充実と強化による適時・適正な運営を図るとともに、全会員に対する委員会の役割を周知します。
- ② 会報「シルバーとさ」の活用や安全就業ハンドブックを配布するなどし、全会員の意識の向上をめざします。
- ③ 入会から1年を対象とした会員対象の研修会に加え、事故率の高いベテラン会員の「初心にかえるため」の講習・研修会も開催するなど、適時・適切な指導體制を整えてまいります。

## (4) 会員の健康管理

- ① センターを組織する会員の健康管理は重要な要件であることから、冬期の感染症予防、夏期の熱中症対策を含め、会員の基礎健康向上のための健康診断受診の奨励を積極的に行います。
- ② 新型コロナウイルス感染症は5類感染症へ移行されたものの、引き続き予防に務め、会報等での必要な情報提供に加え、就業時の会員の感染予防対策品の支給等を行って、センター・会員一体となって、感染予防に万全を期していきます。
- ③ また、土佐市の関係各課との連携により、高年齢者の健康管理に関する冊

子等を配布し、会員自身の自己管理をセンターが側面的に促していく活動を展開します。

## 2 シルバー事業の基盤を確保・拡大するとりくみ

シルバー事業の基本である基盤拡大事業の精神を引き続き堅持し、高齢者の生きがいと社会参加の促進と福祉の向上を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、事業推進員を配置して高齢者の就業機会の開拓、女性の就業拡大、会員拡大推進に取り組みます。

### (1) 就業機会の開拓推進

契約額の目標達成のため、これまでの受託先の掘り起こしやアプローチを行って継続した就業機会の確保に努めるとともに、新たな就業機会の開拓をめざします。

### (2) 女性の就業拡大推進

派遣形態による就業関係の多くに女性会員を希望される場合が多いことや、細やかなサービスの必要性から、さらに女性会員の増加対策に努め、女性会員数 40 パーセント達成をめざします。

### (3) 会員拡大推進

土佐市人口はすでに 26,000 人を割り込む状況にあり、引き続き人口減少が続くと予想される中で、出生率も低下することで少子高齢化がますます進む状況にあります。センターの事業目的の「高齢者の生きがいづくりと、社会参画は最も重要な課題であることから、さらに多くのみなさんの入会を促進するとともに、多様な就業機会の確保を行って就業機会の提供に努めます。

- ① 入会説明会は、第 1、第 3 木曜日（午後 2 時開催）に定期的に開催、さらに入会日を毎月 1 日と 15 日の 2 回に位置づけることや、指定管理施設である新居コミュニティセンターでも入会説明会を開催することとして、細やかな人材確保体制を堅持して会員の拡大に努めます。
- ② 会員のあらゆる就業の機会を通じて広報活動を強め、入会の促進を図ります。また、必要に応じ、市支所等を活用した地域ごとの入会説明会をひらくなど、センターとして受け身から攻めに転じた取り組みを進めます。
- ③ 私たちを震撼させてきた感染症が緩和分類されたことから、公共・事業所・市民が実施する各種催事が復活し、市民イベントへの参加を促進する一方、センターでは内容を充実させた「シルバー文化祭の開催」等によって、側面的なシルバー事業普及啓発事業の普及・促進を図ります。
- ④ その他の公益目的事業に区分される「高齢者活躍人材確保育成事業」の 6 年次について、県連合会と連携した積極的な取り組みによって、会員の資質向上、センターへの入会促進を図ります。

#### (4) 講習会・研修会の推進

高齢者に就業上必要な技能及び知識を付与することにより、その能力や希望を生かした就業機会等を実現し、高齢者の多様なニーズに取り組みます。

- ① 「高齢者活躍人材確保育成事業」では、年齢に関わらず生涯現役で働くことのできる社会実現という課題に向けて、センターもこの事業参加を積極的に行う中で、新たな会員獲得につなげていきます。
- ② 就業会員が不足・高齢化する樹木剪定、文旦等の果樹剪定については、早急に後継者の育成が必要である現状から、引き続き、技能講習会などを開催して会員支援を行うほか、女性会員の活躍する清掃分野に関する講習会を開催して、会員に伐採、刈り払い、剪定のほか、清掃技術を確保し、労働安全衛生法規定に準拠した「適正事業所」づくりを展開します。
- ③ また、派遣事業を円滑に進めていくために必要な技術・接遇などの研修会や講習会も積極的に開催するとともに、令和4年度よりスタートした指定管理事業として管理部門における事務関係分野にも積極的に取り組んでいきます。

#### (5) 就業相談、支援

高齢者ニーズ(雇用、就業、ボランティア活動等)に関する相談、情報提供を行うことにより、高齢者の能力や希望を生かした就業等の社会参加活動を実現します。

- ① 未就業者を含む就業相談会の開催については、従前のおり、毎月第1火曜日午後2時より引き続き開催していきます。

#### (6) ボランティア活動の充実と社会奉仕活動への参加

センターでは、これまで長きにわたってボランティア活動を重視して取り組んできましたが、その経験を生かした取り組みとして土佐市の「おもてなし一斉清掃」等への参加を進めます。

- ① 全国の仲間みなさんと連携したシルバー事業普及啓発活動を推進するため、土佐市の公共施設とその周辺環境美化のため、清掃作業等、環境整備に取り組めます。
- ② 会員やその家族の自家の農産物生産、販売の促進を行って、物づくりの豊かさを広く伝えてまいります。

### 3 普及啓発活動の推進

事業を地域に広く浸透させるためPR活動を積極的に推進するとともに会員の増強及び情報の提供を図るため次の事項に取り組めます。

#### (1) PR活動の推進

- ① 理事会と事務局で機能強化推進員チームを編成し、専従職員とともに就業

開拓活動を推進します。

- ② 行政広報誌への掲載及び各種イベントに参加する中でシルバー人材センター事業、高齢者派遣事業等のPR活動を行ってまいります。
- ③ 前記のボランティア活動を通じ、シルバー事業のPR活動を推進します。

## (2) 会員への情報提供の推進

- ① 会員向け情報掲示板および会報「シルバーとさ」の記事内容を充実させるとともに、新たにデジタル機器による就業情報検索システムを導入するなど、会員への情報提供の推進を図ります。
- ② さまざまな会合を通じ、就業に要する会員情報の共有を推進します。

## (3) インターネットを媒体とした宣伝活動の推進

- ① 当センターホームページを一新し、インターネットによる宣伝活動媒体であることから、その内容の充実を進め、事業拡大の基盤づくりとします。
- ② 公益法人指導監査等で指摘のあった情報の公開及び開示に努め、適正な事業所・事務執行体制に努めます。

## 4 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の促進

当センター公益目的事業の大きな柱である高齢者活用・現役世代雇用サポート事業については、公共関係の大型契約を除くと減少傾向にあることから更に増進していく必要があります。

そのために本年度は、こうした基盤改善に努め、減少の要因を精査したうえで、次の具体の目標を定めて、さらなる事業の推進を図ってまいります。

- ① 派遣就業で年間の就業延人員 1,800 人日、新たな事業の指定管理事業で同じく 500 人日を目指します。
- ② 配置した事業推進員を更に活用し、当該事業の導入の本旨に沿った形で貴重な労働力である団塊世代の受け皿としての準備を積極的に進めます。
- ③ 育児支援、福祉・家事支援等の就業を確保するとともに、今日的な課題である女性の社会進出を果たすため、当センターにおいても女性会員の就業機会の確保と拡大に努めます。

## 5 地域人づくり事業の推進

- ① センターが加入する土佐市地域支え合いネットワーク会議とも連動し過去に実施した会議室を開放した「ほっとる一む円(つぶら)」の再開利用促進を図り、地域の子育てママや子ども達が「ほっと」出来る遊び場の提供を促進していきます。
- ② 県連合受託事業等を活用した研修・講習により、地域組織での相互支援を目的とした活動と、同様の主旨を持つ市内団体と共働して高齢化・若年層地域を側面的に支えていきます。

## 6 独自事業経験の活用

平成 22 年度から取り組んでいる廃棄物の減量化、焼却に伴う地球温暖化の抑制を目的とした「樹木剪定枝葉チップ・リサイクル事業」は休止状態ですが、保有する当該事業に使用した機器を活用してセンター公益目的事業や地域要望事業に応えていくこととします。

## 7 その他

### (1) 県連合会事業への参加

公社) 高知県シルバー人材センター連合会(以下「県連合」という。)が行う下記事業に参加します。

- ① シルバー派遣事業を県連合とともに積極的に促進します。
- ② 県連合が主催・共催する技能研修、役職員研修等に積極的に参加します。
- ③ また、普及啓発活動、安全・適正就業の推進事業にも同様に取り組みます。

### (2) 全国・四国組織への積極的参加

全国シルバー人材センター事業協会、四国ブロックシルバー人材センター協議会の開催行事への参加をはたします。

## III 指定管理者事業

### 1 公の施設指定管理者へのとりくみ

- ① 令和 4 年度より開始した土佐市の公の施設(新居コミュニティセンター)の指定管理者事業の 3 年次に取り組みます。同コミュニティセンターの実績のうち、指定業務の一部に十分でない取り組みがあったことから、その改善も含めて土佐市が設置した当初目的に沿った運営状態に従って地域の活性化と健康・福祉の増進に寄与していくこととします。
- ② また、当該施設は、施設利用者に対する貸し館事業も実施していることから、地元団体の利用向上にとどまらず、指定管理者としてホームページの充実強化により新規利用者・再利用者の拡大・利便向上を図ります。
- ③ センターは、この事業を通じて、会員の就業拡大はもとより、地元地域や周辺地域の高齢者に入会を促し、就業機会を提供する事によって、活力ある地域づくりの側面を担っていくこととします。

## IV 法人管理

### 1 諸会議の開催

- ① センターの最高決議機関である定時総会(年 1 回)の開催に加え、理事会は年 6 回開催を基準に必要な応じて開催し、事業の進捗等に対する理事の役割を強めていきます。
- ② 理事会に役割を付した組織対策理事班、就業対策理事班、独自事業対策理事班のうち、独自事業対策理事班を改編し、理事会が主体的に事業展開を図って

いく体制づくりをめざします。また、事務局と連携して細部の課題克服に努めるよう実施するなど、理事会機能の強化を図ることとします。

- ③ センター理事会には、あらゆる情報を周知し運営理事としての役割を進めるほか、役員会(三役)・事務局会議を定例的に開催し、諸問題の早期解決、課題への具体の取り組みなど、センター機能の強化と向上に努めます。

## 2 センター事務局の組織強化と機能等の充実

- ① センター事務局職員の処遇改善は一定の対策期間を経過し、基本給・諸手当の改善に加え、定年の延長など、一定の成果を収めてきました。こうした処遇改善を引き続き実施して、他の労働条件にも配慮した事業所づくりを行います。
- ② また、センター事務局職員には、各事業に必要な知識を習得させるために先進事例をもつ他センターへの積極的な視察・研修を実施するとともに、現保有資格の維持継続、新規資格等を取得させて、センター職員としてのさらなる資質向上に努めます。
- ③ 事務局職員間では、事業情報の共有を基本に取り組み、関係法令に基づいた適正な事務処理に加え、理事会・総会を含めた制度に基づく事案の立案基礎の研修を行って、基本的な事務処理能力を高めます。
- ④ 今日的な課題となっている
  - 消費税とインボイス制度に関する課題
  - 契約方法の見直しに関する課題
  - デジタル社会に向けたセンターでの活用に関する課題などについては、まずセンター事務局員の知識向上が必要であるため、局員の学習・研修の機会を増設し、会員とともに課題に向けて取り組んでいく体制を構築します。